

「リウマチ手記」匿名希望 66歳

2013年12月20日

「リウマチになって」

2009年5月

北海道から飛行機を乗り継いで やっと松本医院に到着しました。前年（2008年）夏、胸膜炎と心膜炎で1か月以上入院し、仕事に復帰して、3か月後頃から手首に痛みを感じる様になりました。近所の整形外科に通い、湿布薬と痛み止めをもらい治療を続けましたが、だんだん腫れが酷くなり、指の第2関節も腫れている様でした。私は、年齢を重ねると節々も太くなっていくのかなと思う程度で、まだ指の痛みはありませんでした。しかし、整形外科の先生に「たぶん膠原病のリウマチだと思うので大きな病院で検査したほうが良い」と、言われました。旭川市内で有名なリウマチ専門の病院へ行き、検査をした結果、リウマチですと告げられました。その診察のとき、左手1枚のMRI画像を見せられただけで、2日間かけて写したX線写真も、他の部位のMRI画像も見せてもらえませんでした。（要求したのですが、）そこの先生に対して、不信感でいっぱいになり、ここでは治療できないと思ったのです。そのことを千葉に住む娘に話したところ、インターネットでお医者様を探し、3日後には飛行機のチケットと共に、私の元へ来ていました。「お母さん、大阪に良い先生が居るから行ってみよう」松本先生の理論に納得したと話すのです。翌日は飛行機に乗っていました。松本先生にお会いする前に看護師さんからお話があり、やさしい方でホッとしました。先生は「治らない病気はない、必ず治してあげる」とおっしゃいました。また、針とお灸をしてもらおうと脚がずいぶん楽になり、先生の力強い言葉とエネルギーと共に帰途に着きました。それからは、薬草風呂（主人が鍋で煮出す）に入り、お灸をして煎じ薬を飲む、という毎日が続きました。この時点ではまだ仕事を続けていました。ところが、しばらくすると、手首の腫れと痛みがひどく、文字を書いたりパソコンを使用するのが困難になり、仕事を辞めました。自宅に居ても家事は全くできず、週に一度鍼灸の治療に行く以外は外出もしませんでした。

CRP 0.76 血沈 22 ヘルペス 537.2

2009年10月

松本医院受診

このころ、手首の痛みは軽減しましたが、朝方肩の痛みが毎日続きました。肩の痛みで目が覚めるという状態でした。

ヘルペスが原因ですと言われ、ベルクスロン錠を飲み続けました。

CRP 1.42 血沈 15 ヘルペス 162.4

2010年 9月

松本医院受診のため、関空まで飛行機に2時間乗っていると身体がこわばって、脚が棒のようでした。

CRP 0.35 血沈 18 ヘルペス 106.7

その後、耳の中から黄色の汁が出、耳の後ろはかぶれた様に赤くなり、かゆくなってきました。アトピーの症状が出てきたのかとも思い、先生に相談すると、ヨード液の消毒薬と黄色の塗り薬を処方してくれました。

耳の中も外側もダラダラと汁が出て、綿棒とコットンでふき取る毎日が続きました。

2011年 10月

晴から夏になり気温が高くなると体調が良くて痛みもかなり無くなりました。肩の痛みは変わらずありましたが、その他の腫れと痛みはほとんど無くなりました。炊事以外の家事が少しできる様になりました。

CRP 0.3 血沈 17 ヘルペス 111.5

2012年～2013年

仏事が続き、松本医院へ行くことができませんでした。

煎じ薬と薬湯、鍼灸がすっかり生活に馴染んで、腫れや痛みが出たときはお風呂に入り、お灸をすると楽になります。

通常は無理をしなければ、痛みはなく、現状が維持できれば良いと思っています。以前、咳が酷くてお電話で相談した時、「何かあったら、いつでも電話して良いよ」とおっしゃった松本先生の言葉が大変心強く、うれしくて、遠くに住む私にとって支えになっています。

松本先生、本当にありがとうございました。